

平成 30 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
I 類	I 類 A事業所のみを有する特定事業者 II 類 B事業所を有する特定事業者 (III 類の事業者を除く) III 類 C事業所を有する特定事業者 IV 類 任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	坂戸、鶴ヶ島下水道組合	
所在地	埼玉県坂戸市千代田一丁目1番16号	
事業者番号	2007	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	2,207	kL/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床面積 10,000m ² 以上の事業所)		m ²
産業分類名 (中分類)	水道業	
分類番号 (中分類)	36	
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、 資本金等)	下水道事業 職員40名	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)		

(3) 県内に設置している事業所

(自動転記)

事業所 種別	事業所番号	事業所名	前年度の原油換算 エネルギー使用量 (kL)
A、Bテナント等事業所			
A	200700	坂戸、鶴ヶ島下水道組合	2,207
B、C事業所			
合計			2,207

(4) 公表方法

○	インターネット利用による公表	アドレス	http://www.stgesui.or.jp
○	事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合 は別様としてください)	閲覧場所 1	坂戸、鶴ヶ島下水道組合
		所在地 1	埼玉県坂戸市千代田一丁目 1 番 1 6 号
		閲覧可能 時間 1	平日のみ (午前 9 : 0 0 ~ 午後 5 : 0 0)
		閲覧場所 2	石井水処理センター (維持管理課)
		所在地 2	埼玉県坂戸市大字石井 1 3 3 6 番地 1
		閲覧可能 時間 2	平日のみ (午前 9 : 0 0 ~ 午後 5 : 0 0)
	その他		

(5) 公表の担当部署

名 称 (複数可)		連 絡 先		
		電話番号	F A X 番号	E-mailアドレス※
1	総務課	049-283-2051	049-289-8988	sakatsuru@stgesui.or.jp
2	維持管理課	049-283-1101	049-283-5588	sakatsuru@stgesui.or.jp
3				

※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

当組合が自らの事務事業に伴って排出する温室効果ガスの削減に率先して取り組むことで、地球温暖化対策の推進を図ります。

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制

坂戸、鶴ヶ島下水道組合 管理者 石川 清
 ↓
 地球温暖化対策推進委員会
 ↓
 委員長（事務局長）地球温暖化対策推進者
 ↓
 副委員長（次長）
 ↓
 推進責任者（課長級）
 ↓
 推進員（職員等）

4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量(事業所合算)の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	27年度 (2015年度)	28年度 (2016年度)	29年度 (2017年度)	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)
エネルギー起源CO ₂	4,933	4,603	4,560		
その他ガス					
温室効果ガスの合計	4,933	4,603	4,560		

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

地球温暖化対策推進者詳細

現在選任している地球温暖化対策推進者の連絡先詳細を記入すること。

推進者 連絡先	推 進 者 所 属 部 署	坂戸、鶴ヶ島下水道組合
	推 進 者 職 名	事務局長
	氏 名	
	電 話 番 号	049-283-2051
推進者 連絡先 (複数選任し ている場合)	推 進 者 所 属 部 署	
	推 進 者 職 名	
	氏 名	
	電 話 番 号	

※事業者全体を管理する者として、複数の地球温暖化対策推進者を選任している場合は、任意に作成した様式により提出してください。

計画書作成担当者連絡先詳細

地球温暖化対策計画書の作成担当者の連絡先詳細を記入すること。

連絡先 詳細	担当者が所属する事業者名称	坂戸、鶴ヶ島下水道組合
	所 在 地	埼玉県坂戸市大字石井 1 3 3 6 番地 1
	担 当 者 所 属 部 署	維持管理課
	担 当 者 職 名	主事補
	氏 名	
	電 話 番 号	049-283-1101
	FAX 番 号	049-283-5588
	E-mail ア ド レ ス	sakatsuru@stgesui.or.jp

文書等送付・連絡先詳細

事業者あて公文書の送付・連絡先担当者の連絡先詳細を記入すること。

連絡先 詳細	送付・連絡先事業者名称	坂戸、鶴ヶ島下水道組合
	所 在 地	埼玉県坂戸市大字石井 1 3 3 6 番地 1
	担 当 者 所 属 部 署	維持管理課
	担 当 者 職 名	主事補
	氏 名	
	電 話 番 号	049-283-1101
	FAX 番 号	049-283-5588
	E-mail ア ド レ ス	sakatsuru@stgesui.or.jp

※計画書作成担当者連絡先詳細の記載内容が転記されるので、必要に応じて修正。

平成 30 年度

事業者番号

2007

事業所番号

200700

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	
A	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	坂戸、鶴ヶ島下水道組合		前年度における事業所数	9
代表事業所所在地	市区町村	坂戸市		
	字・地番	千代田一丁目1番16号		
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)				
産業分類名(中分類)	水道業			
分類番号(中分類)	36			
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	下水道事業 職員40名 ・下水道組合 庁舎 ・汚水中継ポンプ場2箇所 ・流量調整槽1箇所 ・汚水処理施設2箇所 ・雨水排水機場3箇所		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間		27	年度	～	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	下水道庁舎については、基準年度16年度～18年度の平均二酸化炭素排出量を基準(64t-co2)として、平成31年度末までに11%削減。污水处理施設については、平成16年度～平成18年度の平均原単位を基準(0.341t-co2/千m ³)として、平成31年度末までに11%削減。				
	その他ガス					

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間			年度	～		年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)					
	その他ガス					

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	坂戸、鶴ヶ島下水道組合	坂戸市千代田一丁目1番16号
2	石井水処理センター	坂戸市大字石井1336番地1
3	北坂戸水処理センター	坂戸市芦山町34番地2
4	入西ポンプ場	坂戸市につさい花みず木一丁目2番
5	鶴ヶ丘ポンプ場	鶴ヶ島市大字五味ヶ谷117番地6
6	浅羽野雨水排水機場	坂戸市中富町62番地6
7	坂戸樋管排水機場	坂戸市伊豆の山町52番地
8	大谷川雨水ポンプ場	坂戸市大字紺屋1668番地1
9	流量調整槽	坂戸市西坂戸二丁目1566番地75
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本工業規格A列4番

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	2,388	2,235	2,207		

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算(t-CO₂)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO ₂		4,933	4,603	4,560		
その他ガス	非エネルギー起源 CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		4,933	4,603	4,560		

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算(t-CO₂/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO ₂ 排出量原単位				0.3103	0.2962	0.2785		
活動規模の指標								
	○	流入量	千m ³ /年	15,900	15,538	16,376		

日本工業規格A列4番

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所

No	対策の区分			対策概要	実施 年度	推計 削減量 (t) (一年度 当たり)
	区分 番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	地球温暖化対策に関する推進組織の整備 (地球温暖化対策実行計画) (第2計画期間継続中)	H26以前	
2	130100	空気調和設備・ 換気設備	13_空気調和の運転管 理	夏季及び冬季におけるエアコンの運転時間 及び適正な室内温度を順守する (第2計画期間継続中)	H26以前	
3	150300	受変電設備、 照明設備、電 気設備	15_事務用機器等の管 理	パソコン等を使用していないときは電源を 切るように努める (第2計画期間継続中)	H26以前	
4	360700	ポンプ、ファン、 ブロワー、コン プレッサー等	36_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	遠心脱水機の更新	H26以前	
5	320100	ボイラー、工業 炉、蒸気系統、	32_燃料の燃焼の合理 化に関する措置	汚泥焼却炉の連続運転に伴う燃料（灯油） の削減 (第2計画期間継続中)	H26以前	
6	360700	ポンプ、ファン、 ブロワー、コン プレッサー等	36_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	送風量の適正化に伴う送風機の電気使用量 の削減 (第2計画期間継続中)	H26以前	
7	130200	空気調和設備・ 換気設備	13_空気調和設備の効 率管理	エアコンの更新	H26以前	
8	150200	受変電設備、 照明設備、電 気設備	15_照明設備の運用管 理	照明をLEDに変更	H32以降	
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本工業規格A列4番

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

◇節電対策等の実施

特に夏季(6月～9月)と冬季(12月～3月)にかけて対策を実施。

①空調機器

- ・エアコン設定温度は冷房28℃以上、暖房20℃以下とした。
- ・夏季にはクールビズ(ネクタイ・上着なし)、冬季にはウォームビズ(重ね着・膝掛け等の使用)を励行し、就業時間中の冷暖房に創意工夫した。
- ・一部の緑化カーテンの採用

②照明機器

- ・事務室、廊下等の照明は必要最小限度の使用に留めた。
- ・不要な照明の間引きを実施した。
- ・昼休みの不要な照明の消灯を行った。

③OA機器

- ・離席、終業時の電源オフを徹底した。

④節電等対策の周知

- ・クールビズ及びウォームビズの張り紙等での協力の呼びかけを行った。

⑤公用車

- ・不要なアイドリングは行わず、エコドライブを心掛けた。
- ・乗り合いを心掛け、効率的な使用に努めた。

⑥その他

- ・節水を心掛けた。